

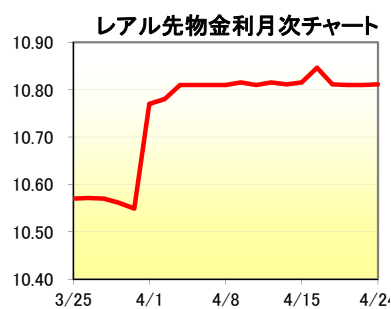
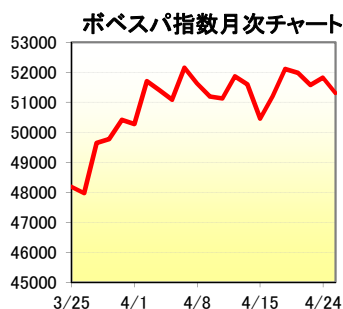
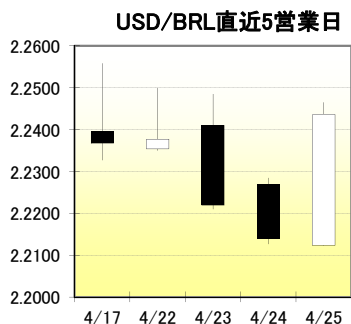
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			4月17日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.2390	2.2420	2.2230	2.2150	2.2440	+0.0290
	USD/YEN	Spot	102.42	102.61	102.43	102.32	102.15	-0.1700
	EUR/USD	Spot	1.3815	1.3804	1.3817	1.3828	1.3834	+0.0006
	BRL/YEN	Spot	45.78	45.84	46.08	46.19	45.53	-0.6600
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0.90	0.85	0.73	0.79	0.77	-0.0190
		1Year(p.a.)	1.22	1.17	1.11	1.09	1.04	-0.0440
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10.96	10.96	10.92	10.92	10.96	+0.0341
		1Year(p.a.)	11.28	11.35	11.26	11.27	11.33	+0.0557
Stock	Bovespa		52,112	51,977	51,570	51,817	51,399	-418.10
Bond	CDS Brazil 5y		157.00	152.00	153.00	152.91	157.00	+4.0900
	Global 40		113.000	113.000	113.025	113.000	113.025	+0.0250

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FIPE CPI-週次	0.59%	0.57%	0.63%	なし
FGV消費者信頼感		106.3	107.2	
経常収支	-\$6302M	-\$6248M	-\$7399M	
対内直接投資	\$3500M	\$4995M	\$4079M	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは連休明けかつ主要なイベントもなかったことから、2.21 から 2.25 を中心としたレンジ内取引に終結した。
- 今週の為替相場は US\$1=R\$2.2350 で寄り付いた。
- 週初は休暇明けで相場がボラタイルとなる中で週間安値となる US\$1=R\$2.2500 をつけたが、材料難から下値を追う動きは限定的となった。その後、米国の住宅関連指標が強かったことを受けてリスク資産の買いが強まったことからレアルは反発した。さらに、豪州のインフレ率が市場予想を下回ったことや中国の経済指標が弱含んだことを受けて、対資源国通貨でレアル買いが強まり、週央にかけてレアルは週間高値となる US\$1=R\$2.2110 まで上昇した。
- しかし、翌 25 日には消費者信頼感指数や建設コストが前月から悪化したことを材料に朝方からレアル売り優勢となった。また、週末を前に利益確定と思しきレアルの売りも見られ、レアルは 2.24 台半ばまで値を戻し、結局 US\$1=R\$2.2440 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
4/28	税収	Mar	87000M	83137M
4/28	貿易収支(週次)	Apr-27	--	\$45M
4/29	FGVインフIGPM(前月比)	Apr	0.82%	1.67%
4/29	融資残高	Mar	--	2733B
4/29	中央政府財政収支	Mar	--	-3.1B
4/30	純債務対GDP比	Mar	--	33.70%
4/30	Nominal Budget Balance	Mar	--	-9.5B
4/30	基礎的財政収支	Mar	2.5B	2.1B
5/2	HSBCブラジル製造業PMI	Apr	--	50.6
5/2	貿易収支(月次)	Apr	-\$1000M	\$112M
5/2	総輸出	Apr	--	\$17628M
5/2	総輸入	Apr	--	\$17516M

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.20－2.28

今週は材料難から方向感に乏しく、レアルは 2.24 台から 2.21 台での往って来いの展開となった。来週はレアルサイドの材料としては、税収やプライマリーバランスなどの公共部門の経済指標に注目が集まる。また、米ドルサイドでは FOMC や雇用統計などの主要イベントを控えており、結果次第ではボラティルな相場展開が予想される。

ブラジルの公共部門の経済指標については、改善方向の予想が優勢であり、悪化した場合のレアル下落方向の動きに注意が必要。FOMC では 100 億ドルの資産購入額縮小を決定すると予想されるが、今回は FOMC 後の議長記者会見や経済見通しの公表がないため、大きなサプライズはないと予想される。最注目目は 5/2 の米雇用統計。マーケットコンセンサスは非農業部門雇用者数が前月比 215 千人の増加となっており前月の 192 千人から改善する見通し。失業率も前月の 6.7% から 6.6% に改善すると予想されている。強めの予想となっている分、結果が弱かった時のレアル下落リスクに注意が必要である。

先月の米雇用統計発表の際には、総じて強めの内容にリスクオンの相場展開となり、レアルが 2.28 台から 2.23 台半ばまで急騰した。今回の結果が弱ければレアルの巻き返しが起こり、2.2 台後半までレアルが急落する可能性がある。一方、予想通り米雇用統計が強かった場合には大きなサプライズはなく、先週高値である 2.21 近辺を試す展開を予想する。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department